


※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

**企業・団体名(公益社団法人 更埴地域シルバー人材センター)**

**SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】**

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			働く意欲のある高齢者であれば誰でも参加できる体制を整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			自主・自立・共働・共助の理念に基づき、各種会議等でハラスメントを防止するよう躰けている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1			
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			就業日数と就業時間は概ね月10日以内、又は週20時間を超えない範囲を目安としている								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			働く意欲のある高齢者であれば誰でも参加できる体制を整備している				4.4				8.7 8.8	10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			安全就業推進委員会を設置し、事故防止を徹底するとともに、事故が発生した場合は事故状況を共有し、再発防止に取り組んでいる							3	8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			メンタルヘルスに関する理解を促進するための研修のほか福利厚生事業としてマレットゴルフやボウリング大会を開催し、会員同志コミュニケーションを深めている。							3										
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			高齢者が豊かな経験と知識・知恵を活かして年齢・性別に関わりなく生涯現役で活躍できるよう入会説明会において面談の上マッチングするよう取り組んでいる					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			役職員の資質の向上と活性化を図るため、各種研修会への受講を促すほか会員に運転・刈払い機講習会の場を設けている				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			労働法制の内容を理解し、適正就業ガイドラインに基づき、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5	10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			産業医による健康相談を毎月実施し、会員の健康管理に取り組んでいる							3		8								
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			事業所として廃棄物の適正管理をするるとともに、地域の集積所や福祉団体へ搬出・提供するなど資源化に取り組んでいる										11.6	12		14.1				
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			毎月、事業所のエネルギー使用量を把握し、節電・節水等環境への配慮を意識している								7.3				13					
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			毎月のエネルギー使用量を踏まえ、休憩時間の全室消灯や日頃から環境に配慮した事務事業を心がけている								7.2 7.3			12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			有害化学物質を使用するような危険を伴う作業には会員を従事させない、事務所内でも使用しないよう取り組む						3.9			6.3			11.6	12.4				





上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
地域の中で高齢者が分け隔てなく就業や地域貢献に関わり、元気に活躍できる社会の実現を目指します		国が進める「働き方改革実行計画」を踏まえ、エイジレスに働けるよう人材確保に努め、生活満足度を高める	1.2 1.4		3.8 3.d		5.1			8.5 8.9		10.2	11.a					16.7 16.b	
デジタル社会への対応を推進します		フリーランス法の施行を見据え、電磁的システムを導入し、デジタル社会への対応を推進する	1.4			4.7	5.1					10.2 10.4							

**【記載留意事項】**

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。  
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載  
 ※1…組織の社会的責任に関する国際規格      ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定